

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 祭り、盆踊り、清掃活動や地域合同防災訓練等、地域のイベントに積極的に参加している。 ホールに飾ってある大きな絵画は近所の住民の大作であるが、定期的に取り換えてくれる。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 様々な障害が発生して、運営推進会議が流会になることが多く、会議が本来の目的を果たすに至っていない。今後は、定期的な開催が望ましい。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 法人の経営層が市と強いパイプを持ち、管理者も市と関連する職場で勤務していた経験がある。それらをうまく活かし、担当者とも強い信頼関係を構築している。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会や日々の訪問時に、家族の意見や要望を出してもらっている。管理者が交代したが、職員としての勤務が長く家族とも馴染みの関係にあり、何でも言いやすい雰囲気がある。 意見箱が玄関横に設置してあるが、投函されたことはほとんどない。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
重点項目	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>運営推進会議の開催回数が少なく、所期の目的を果たすには至っていない。 今年度から、会議メンバーには「目標達成計画」のモニター役としての役割が増えた。そのためにも、定期的な会議開催が望まれる。</p>
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。